



教科	科目	単位数	対象学年
社会	地理・歴史	4	2

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、倭が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
目標を達成するための留意点	知識に偏りすぎた指導にならないように、基本的な事項・事柄を厳選して指導内容を構成していく。生徒の主体的な学習を促し、課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、適切な課題を設けて行う学習の充実を図る。社会的事象の特色や事象間の関連を説明する学習を通して、言語活動の充実を図る。資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図る。その際、情報モラルの指導にも配慮する。教育基本法第14条及び第15条の規定に基づき、政治及び宗教に関する教育を行う。
使用教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい社会 地理（東京書籍）</li> <li>・新しい社会 歴史（東京書籍）</li> </ul>
使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティブ地理総合（浜島書店）</li> <li>・基礎をきづく地理② 東京書籍版（浜島書店）</li> <li>・つながる歴史（浜島書店）</li> <li>・基礎をきづく歴史②③ 東京書籍版（浜島書店）</li> </ul>
評価基準	知識・理解／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	<p>[地理] 第3編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 地域調査の手法</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方</p> <p>5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方</p> <p>第4章 地域の在り方</p> <p>[歴史] 第4章 近世の日本</p> <p>2節 江戸幕府の成立と鎖国 3節 産業の発達と幕府政治の動き</p> <p>第5章 開国と近代日本の歩み</p> <p>1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国</p> <p>3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業</p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代</p> <p>3節 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本</p>



教科	科目	単位数	対象学年
数学	数学①(数式)	3	2年

## 1. 学習の到達目標等

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記学習内容を理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。特に、計算力(文字式の計算, 連立方程式の解法)を育成すること、関数とグラフ(1次関数の式とグラフ, 二元1次方程式の表す直線)についての理解を深めること。</li> <li>・学力推移テストで偏差値 55 以上が取れる習熟度をめざす。</li> </ul>
目標達成のための留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語, 記号の意味の理解を徹底するとともに, 式の書き方, 論理的な表現力の育成を目指すこと。</li> <li>・中学校数学は, 「数式, 図形, 関数, 統計」分野を, 各学年で内容を深めながらスパイラル方式で指導し, その理解と定着を目指していることに留意し, 決して直線的な指導にならないように注意すること。</li> </ul>
教科書	これからの数学2(数研出版), これからの数学3(数研出版) これからの数学2探究ノート(数研出版), これからの数学3探究ノート(数研出版)
副教材	体系数学Ⅰ代数編, 体系数学問題集Ⅰ代数編 体系数学Ⅱ代数編, 体系数学問題集Ⅱ代数編
評価方法	定期考査, 小テスト, 提出課題などで知識・技能・活用力の到達度を問う。また, 課題やノートなどの提出物及び授業態度における自主性・主体性なども考慮し, 総合的に評価する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 式の計算 簡単な整式の加減, 単項式の乗法・除法について学ぶ。</li> <li>2. 連立方程式 連立二元1次方程式の解の意味とその解法について学ぶ。</li> <li>3. 1次関数 1次関数について, 表・式・グラフを相互に関連付けて理解する。</li> </ol> <p>[発展学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の性質, 四則計算について, さらに深める。</li> <li>・数の平方根について理解し, 数の概念についての理解を深める。</li> <li>・2次方程式の解法を理解し, それを用いて事象を考察できるようにする。</li> <li>・関数 <math>y = ax^2</math> のグラフの特徴や関数値の変化(最大値, 最小値, 変化の割合)などの関数の性質を理解する。</li> </ul>

## 2. 指導計画

科目	項目	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
数学①	式の計算(中2)	■	■																																		
	連立方程式			■	■																																
	1次関数																																				
	式の計算(中3)																																				
	平方根																																				
	2次方程式																																				
関数 $y=ax^2$																																					

教科	科目	単位数	対象学年
数学	数学②(図形)	2	2年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記学習内容を理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。特に、定義・平行線の性質・三角形の合同条件などを用いて図形の性質を説明する「証明」の仕方を理解させることにより、論理的な考え方や表現力を育成する。</li> <li>・学力推移テストで偏差値 55 以上が取れる習熟度をを目指す。</li> </ul>
目標達成のための留意点	<p>論理力、表現力の育成のためには、生徒が考えたことや工夫したことなどを数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動が大切である。したがって、AL 型授業の活用など、指導法を工夫し、決して形式的な記述指導だけに終わらせないこと。</p>
教科書	<p>これからの数学2(数研出版), これからの数学3(数研出版)</p> <p>これからの数学2探究ノート(数研出版), これからの数学3探究ノート(数研出版)</p>
副教材	<p>体系数学Ⅰ 幾何編, 体系数学問題集Ⅰ 幾何編</p> <p>体系数学Ⅱ 幾何編, 体系数学問題集Ⅱ 幾何編</p>
評価方法	<p>定期考査, 小テスト, 提出課題などで知識・技能・活用力の到達度を問う。また, 課題やノートなどの提出物及び授業態度における自主性・主体性なども考慮し, 総合的に評価する。</p>
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 図形の相似 <ul style="list-style-type: none"> <li>平行線と線分比, 三角形の相似条件について学び, それを基にして図形の性質を論理的に考えることができるようにする。また, 相似な図形について, 相似比, 面積比, 体積比の関係を理解する。</li> </ul> </li> <li>2, 円周角と中心角 <ul style="list-style-type: none"> <li>円周角と中心角の関係を理解し, それを用いて円の性質について考察する。</li> </ul> </li> <li>3, 三平方の定理 <ul style="list-style-type: none"> <li>三平方の定理について理解し, それを図形の計量に活用できるようにする。</li> </ul> </li> <li>4, 確率 <ul style="list-style-type: none"> <li>不確定な事象を調べることを通して, 確率について理解し, それを用いて考察し表現することができるようにする。</li> </ul> </li> <li>5, 標本調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>母集団から標本を取り出し, その傾向を調べることで, 母集団の傾向を読み取ることができるようにする。</li> </ul> </li> </ol>

### 2. 指導計画



教科	科目	単位数	対象学年
理科	理科1分野	2	2年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回路の基本的性質や、電圧と電流との関係について規則性を見出させる。</li> <li>2. 静電気と電流には関係があることを見出させ、電流の正体について理解させる。</li> <li>3. 電気の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させる。</li> <li>4. 電気分解の実験より、イオンの存在を知り、イオンの生成と原子の構成が関係することを理解する。</li> <li>5. イオンのモデルを用いて電池の原理が説明できるようにする。</li> <li>6. 酸やアルカリの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知らせる。</li> <li>7. 酸とアルカリが反応すると水と塩ができることを知るとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。</li> <li>8. 2力がつり合う条件を理解させる。作図によって合力を求めることができるようにする。また、分力の求め方を理解させる。</li> <li>9. 物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。</li> <li>10. 仕事の量の求め方を理解させ、仕事の原理を見出させる。</li> <li>11. エネルギーの定義を理解させ、力学的エネルギー保存の法則を理解させる。</li> </ol>
目標を達成するための留意点	知識獲得を最終目的とするのではなく、獲得した知識を活用し、考察することに意識を向けさせるように指導する。
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」(啓林館) 「未来へひろがるサイエンス3」(啓林館)
使用副教材	「中学 Sirius21 Vol.2」(育伸社) 「中学 Sirius21 Vol.3」(育伸社)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 関心・意欲・態度</li> <li>* 科学的な思考・表現</li> <li>* 観察・実験</li> <li>* 知識・理解</li> </ul> <p>の4つの観点と定期考査、課題、授業への参加姿勢などを基に総合的に評価する</p>
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 電流の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 電流の性質</li> <li>第2章 電流の正体</li> <li>第3章 電流と磁界</li> </ul> </li> <li>◇ 化学変化とイオン <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 水溶液とイオン</li> <li>第2章 酸・アルカリと塩</li> </ul> </li> <li>◇ 運動とエネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 力のつり合いと合成・分解</li> </ul> </li> </ul>

	第2章 力と物体の運動 第3章 仕事とエネルギー 第4章 いろいろなエネルギーとその移り変わり 第5章 エネルギー資源とその利用
--	---

2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
化学変化と原子・分子	物質の成り立ち												
	物質の表し方												
	さまざまな化学変化												
	化学変化と物質の質量												
電流とその利用	電流の性質												
	電流の正体												
	電流と磁界												
化学変化とイオン	水溶液とイオン												
	電池とイオン												
	酸・アルカリと塩												
運動とエネルギー	力の合成と分解												
	物体の運動												
	仕事とエネルギー												
	多様なエネルギーとその移り変わり												
自然と人間	エネルギー資源とその利用												
	自然界のつり合い												
	さまざまな物質の利用と人間												
	科学技術の発展												
	人間と環境												
	持続可能な社会をめざして												
				1 学 期 中 間 考 査	1 学 期 期 末 考 査			2 学 期 中 間 考 査	2 学 期 期 末 考 査			学 年 末 考 査	



教科	科目	単位数	対象学年
理科	理科1分野	2	2年

### 1. 学習の到達目標等

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回路の基本的性質や、電圧と電流との関係について規則性を見出させる。</li> <li>2. 静電気と電流には関係があることを見出させ、電流の正体について理解させる。</li> <li>3. 電気の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させる。</li> <li>4. 電気分解の実験より、イオンの存在を知り、イオンの生成と原子の構成が関係することを理解する。</li> <li>5. イオンのモデルを用いて電池の原理が説明できるようにする。</li> <li>6. 酸やアルカリの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知らせる。</li> <li>7. 酸とアルカリが反応すると水と塩ができることを知るとともに、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。</li> <li>8. 2力がつり合う条件を理解させる。作図によって合力を求めることができるようにする。また、分力の求め方を理解させる。</li> <li>9. 物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。</li> <li>10. 仕事の量の求め方を理解させ、仕事の原理を見出させる。</li> <li>11. エネルギーの定義を理解させ、力学的エネルギー保存の法則を理解させる。</li> </ol>
目標を達成するための留意点	知識獲得を最終目的とするのではなく、獲得した知識を活用し、考察することに意識を向けさせるように指導する。
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス2」(啓林館) 「未来へひろがるサイエンス3」(啓林館)
使用副教材	「中学 Sirius21 Vol.2」(育伸社) 「中学 Sirius21 Vol.3」(育伸社)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 関心・意欲・態度</li> <li>* 科学的な思考・表現</li> <li>* 観察・実験</li> <li>* 知識・理解</li> </ul> <p>の4つの観点と定期考査、課題、授業への参加姿勢などを基に総合的に評価する</p>
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 電流の性質とその利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 電流の性質</li> <li>第2章 電流の正体</li> <li>第3章 電流と磁界</li> </ul> </li> <li>◇ 化学変化とイオン <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 水溶液とイオン</li> <li>第2章 酸・アルカリと塩</li> </ul> </li> <li>◇ 運動とエネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 力のつり合いと合成・分解</li> </ul> </li> </ul>

	第2章 力と物体の運動 第3章 仕事とエネルギー 第4章 いろいろなエネルギーとその移り変わり 第5章 エネルギー資源とその利用
--	---

2. 指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
化学変化と原子・分子	物質の成り立ち													
	物質の表し方													
	さまざまな化学変化													
	化学変化と物質の質量													
電流とその利用	電流の性質													
	電流の正体													
	電流と磁界													
化学変化とイオン	水溶液とイオン													
	電池とイオン													
	酸・アルカリと塩													
運動とエネルギー	力の合成と分解													
	物体の運動													
	仕事とエネルギー													
	多様なエネルギーとその移り変わり													
自然と人間	エネルギー資源とその利用													
	自然界のつり合い													
	さまざまな物質の利用と人間													
	科学技術の発展													
	人間と環境													
	持続可能な社会をめざして													
				1 学 期 中 間 考 査			1 学 期 期 末 考 査			2 学 期 中 間 考 査			2 学 期 期 末 考 査	学 年 末 考 査











